

「北上にっこり地区拠点施設」の完成式が挙行了されました

10月10日、石巻市立北上小学校にて、同市北上地区の公共施設を集約した「石巻市北上にっこり地区拠点施設」と、「石巻市立北上小学校」新校舎の完成式が挙行了されました（北上小学校は、東日本大震災で被災した相川、吉浜、橋浦小学校3校が統合し、H25.4に開校）。本年4月から供用開始されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で式典が延期されており、このたび開催される運びとなりました。

式典には約70人が出席し、亀山石巻市長は「完成した各施設を、新たな地域コミュニティの拠点として多くの人に活用してほしい」と式辞を述べました。式典の最後には、亀山市長、英宮城復興局長らに小学生代表も参加してテープカットを行い、参加者全員で完成を祝いました。

なお、これらの施設は東日本大震災の津波で被災した総合支所・公民館・放課後児童クラブなどの複合施設、こども園、河北消防署北上出張所、小学校を海拔約30mの高台に再整備したもので、教育、福祉、子育てなど住民生活を支える拠点となっています。

また、周辺には中学校、野球場、テニスコートがあり、復興住宅・自力再建された住宅とともに各種公共施設が一体となった利便性の高い新たな街が形成されており、地域コミュニティの拠点として、今後ますますの賑わい、発展が期待されます。



【テープカットの様子】



【総合支所を含む複合施設】



敷地は海拔約30mの高台に整備され、雄大な北上川を見渡せる場所にあります。【青色】既存の施設／【黄色】新設の施設（写真提供：石巻市）